



●底から5メートルの間で乗ることが多かった

★ヤリイカは春の南房を代表するターゲットだけに今後の復調に期待したい

南房布良港出船

南房白浜沖のヤリイカ 春本番のラストスパークに期待

撮影●椎名義徳



★子持ちのヤリイカは春の味覚



◀プラズノ11センチのプランコ仕掛け、オモリ150号を使用



●ヤリイカは、海水を張ったクーラーや簡易イケースに入れてエアポンプで空気を送れば半日くらいは生きています。ヤリイカの生き造りは格別です！



▲マルイカも上がった

▲潮具合によってはオマツリも多いのでプランコ仕掛けて確実に取り込んでいきたい
▶後半に狙った180メートルダチでダブル

本来ならトップシーズンを迎えているはずの南房白浜沖のヤリイカだが、どういうわけか今年は模様が遅れたうえ今一つ安定しない展開が続いている。布良港から出船した3月中旬の取材日は白浜沖の水深120メートル前後を狙い早朝はバタバタと乗って多点掛けも見られたが、その後は水深130〜210メートルを転々と流してポツポツの乗り。しかし当日釣れたイカは抱卵したメスが多かったことから、この群れを追ってパラソル級のオスの大群が押し寄せ可能性がある。春本番のラストスパークに期待したい。
(詳細は56ページ参照)



●南房布良港・良和丸 志村 良一船長